

第1学年 国語科学習指導案

日時：令和6年11月13日(水)5校時

場所：清水小学校 1年生教室

授業者：

- 1 単元名 せつめいする文しょうをよもう「じどう車くらべ」
せつめいする文しょうをかこう「じどう車ずかんをつくろう」

2 単元・教材について

「じどう車くらべ」は児童にとって興味・関心が高い身近なじどう車を取り上げた説明的文章である。本教材は、「読むこと」の領域の「じどう車くらべ」と「書くこと」の領域の「じどう車ずかんをつくろう」の2つの教材を関連付けて構成されている。「じどう車くらべ」は、「問い+答え+答え+答え」という列挙型の構成になっている。「どんなしごとをしていますか」、そのために「どんなつくりになっていますか」という問いが二つあり、答えが「しごと」と「つくり」の二つの段落に分けて書かれている明確な構成となっている。バスや乗用車、トラック、クレーン車の3種類の自動車を取り上げ、それぞれの自動車の「しごと」と「つくり」について読み取っていく。その際、「じどう車しょうかいカード」を書く時のポイントを見つけていく。ポイントは①「しごと」の文と「つくり」の文がある。②「しごと」の文、「つくり」の文の順になっている。③接続詞「そのために」で「しごと」と「つくり」の文をつないでいる。を考えている。

「じどう車ずかんをつくろう」では、並行読書の中から紹介したい自動車の「しごと」と「つくり」の関係に気を付けながら、自動車を説明する文を「じどう車しょうかいカード」に書く。全員の「じどう車しょうかいカード」を集めて図鑑にし、図書室に置いて全校の子に読んでもらうようにする。

3 研究との関わり

(I) - 2 確かめの活動で、「しごと」「つくり」の文と「そのために」を並び替え、「じどう車しょうかいカード」を書くポイントにつなぐ。(単元で付けた力に対する振り返り「きよみずガエル」の活用)

(II) - 2 深めの発問をすることにより、「しごと」のための「つくり」になっているという理解を深める。

4 単元の目標

◎順序を考えながら自動車の「しごと」と「つくり」の語や文を選び出すことができる。

◎「しごと」「つくり」「そのために」を使って順序に沿って紹介したい自動車の説明文を書くことができる。

○自動車の「しごと」にあった「つくり」になっている関係について理解することができる。

単元の評価規準

知識及び技能	思考力・判断力・表現力等	学びに向かう力・人間性等
事柄の順序など情報と情報との関係について理解している。(2ア)	「読むこと」において、事柄の順序などを考えながら、内容の大体を捉えている。(C1ア) 「読むこと」において、文章の中の重要な語や文を考えて選び出している。(C1ウ) 「書くこと」において事柄の順序に沿って簡単な構成を考えている。(B1イ)	進んで説明における順序を考えながら読み、自分が説明するときにかきたいことを見つけながら読もうとしている。 分かりやすい説明のしかたについて興味をもち、説明の順序に気を付けながら「じどう車しょうかいカード」を作ろうとしている。

5 単元指導計画

次	時	単位時間の目標	評価規準	並行書読
1	1	自動車について知っていることを発表し、それぞれの自動車には「しごと」「つくり」があることに気づき、学習の見直しをもち、学習する意欲を高めることができる。	自動車の「しごと」と「つくり」に興味をもち、進んで文章を読もうとしている。(学びに向かう力・人間性等)	「はたらくじどう車シリーズ」海老原実宜男(国土書者)等 小峰書店編集部編(小峰書店)
2	2	問いの文や出てきた自動車を確かめることを通して、内容の大体を捉えることができる。	問いの文や出てきた自動車を確かめることを通して、文章の大体を捉えている。(思考力・判断力・表現力等)	
	3	「人をのせてはこぶ」「ぎせき」「ひろく」「大きなまど」の言葉に着目し、本文と挿絵をつなぐことを通して、バスや乗用車の「しごと」と「つくり」を読み取ることができる。	バスと乗用車の「しごと」と「つくり」を読み取っている。(思考力・判断力・表現力等)	
	4	「にもつをはこぶ」「ひろいにだい」「タイヤがたくさん」などの言葉に着目し、本文と挿絵をつなぐことを通して、トラックの「しごと」と「つくり」を読み取ることができる。	トラックの「しごと」と「つくり」を読み取っている。(思考力・判断力・表現力等)	
	5 本時	「つり上げる」「じょうぶなうで」「しっかりしたあし」などの言葉に着目し、本文と挿絵をつなぐことを通して、クレーン車の「しごと」と「つくり」を読み取ることができる。	クレーン車の「しごと」と「つくり」を読み取っている。(思考力・判断力・表現力等)	
	6 7	はしご車の挿絵や児童の経験をもとに話し合うことを通して、はしご車の「しごと」と「つくり」を捉え、既習の文章構成や「そのために」を使ってはしご車を説明する文を書くことができる。	「しごと」とそれにあつた「つくり」を絵から選び出し、事柄の順序に沿って「そのために」でつないで文章を書いている。(思考力・判断力・表現力等)	
3	8	紹介したい自動車を自動車図鑑等で選んで「しごと」とそのための「つくり」を調べ、「見つけカード」に書くことができる。	紹介したい自動車の「しごと」をとらえ、「しごと」に合う「つくり」を調べ、「見つけカード」に書き込んでいる。(知識・技能)	
	9	自動車図鑑等で調べて書いた「見つけカード」を使って、「しごと」と「つくり」のつながりのある文章を書くことができる。	「しごと」とそれに合った「つくり」を「見つけカード」から選び出し、「そのために」を使ってつながりのある文を書いている。(思考力・判断力・表現力等)	
	10	下書きを見直し、文章を書くときの約束を守って、紹介したい自動車の「じどう車しょうかいカード」を清書することができる。	文章を書くときの約束を守って、正しくていねいな文字で「じどう車しょうかいカード」を仕上げている。(学びに向かう力・人間性等)	
	11	自分の作った「じどう車しょうかいカード」を見せ合い、感想を伝え合うことを通して、友達の文章のよさを見つけることができる。	友達の「じどう車しょうかいカード」のよさを見つけ、伝えている。(学びに向かう力・人間性等)	

6 本時のねらい

「つり上げる」「じょうぶなうで」「しっかりしたあし」などの言葉に着目し、本文と挿絵をつなぐことを通して、クレーン車の「しごと」と「つくり」を読み取ることができる。(思考力・判断力・表現力等)

7 本時の展開 (5/11)

単元のきよみずガエル君：じどう車の「しごと」と「つくり」が見つかったかな。

「じどう車しょうかいカード」を書く時のポイントは何かな。

言葉の宝箱：そのために つり上げる うで あし 車たい

☆ (研究内容に関する指導援助)

段階	学習活動	研究内容に関わる指導・援助、評価規準
<p>つかむ</p> <p>深める</p> <p>まとめる</p> <p>確かめる</p>	<p>1 前時までの学習を振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> トラックは「にもつをはこぶしごと」で、つくりは「ひろいにだい」と「タイヤがたくさん」ついています。 <p>2 課題をつかむ。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">クレーン車の「しごと」と「つくり」をみつけよう。</div> <p>3 クレーン車の「しごと」と「つくり」を見つける。</p> <ul style="list-style-type: none"> 一斉音読をして、教科書にクレーン車の「しごと」と「つくり」が書かれている部分に線を引く。 挿絵と言葉をつなぐ。(うで・あし・車たい) <p>4 クレーン車の「しごと」と「つくり」を交流する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 「しごと」…おもいものをつり上げる 「つくり」…じょうぶなうでが、のびたりうごいたりする (車たいがかたむかないように) しっかりしたあしがついている。 <p>5 深めの発問をする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">どうしてじょうぶなうでやしっかりしたあしがついているのでしょうか。</div> <ul style="list-style-type: none"> じょうぶなうでがないと重いものをつり上げることができない。 しっかりした足がないと重いものをつり上げたときに倒れてしまうかもしれない。 <p>6 クレーン車の「しごと」と「つくり」についてまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ワークシートに記入する。(振り返りをする。) <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">クレーン車は、おもいものを<u>つり上げる</u>しごとをしています。 そのために <u>じょうぶなうで</u>がのびたりうごいたりするよ に、つくって あります。車たいがかたむかないように、<u>しっか りしたあし</u>がついています。</div> <p>7 確かめの活動をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> 3つの自動車の「しごと」「つくり」「そのために」のカードを並び替え、順番を確かめる。 各自で操作してから全体で確かめる。 <p>8 きよみずガエル君の振り返りを行う。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">「しごと」と「そのために」「つくり」の順に書くとよい。</div> <p>9 言葉の宝箱に言葉貯金をする。</p> <p>「そのために」「つり上げる」「うで」「あし」「車たい」等</p>	<p>・前時に学習したトラックの「しごと」と「つくり」を復習することで、本時の学習の見通しをもつ。</p> <p>☆「じどう車しょうかいカード」を書くポイントを見つけて自動車図鑑をみんなで作ることを確認する。</p> <p>・クレーン車の「しごと」と「つくり」を見つけること、挿絵と言葉をつなぐことを提示し、本時の見通しをもてるようにする。</p> <p>・全体で「つり上げる」の言葉の意味を動作化しながら確認し、言葉の理解を確かめる。</p> <p>☆動作化しながら重い荷物を「つり上げる」ために「じょうぶなうで」や「しっかりしたあし」がついていることを理解できるようにする。</p> <p>・「しごと」のための「つくり」になっていることや「そのために」の言葉を押さえる。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;">クレーン車の「しごと」と「つくり」を読み取っている。 (思考力・判断力・表現力等)</div> <p>☆「しごと」や「つくり」の文「そのために」を並び替え、「しごと」と「つくり」を「そのために」でつないでいることを確認して「じどう車しょうかいカード」を書くポイントを確かめる。 (きよみずガエル君の活用)</p> <p>☆言葉の宝箱としてに本時大切にしたい言葉を確認する。</p>

